

## 新たな特殊救難隊員の誕生

### ～特殊救難業務研修修了式～

12月22日、第三管区海上保安本部本部長室において、「特殊救難業務研修修了式」を執り行いました。

4人の新人隊員は、今年4月から約9ヶ月間、特殊救難隊員として必要な技術・体力・精神力を養うため、特殊救難隊長及び副隊長の指導の下、潜水訓練、レンジャー訓練、100キロメートル行軍等の厳しい訓練を乗り越え、晴れて修了式を迎えました。

研修修了式においては、大根潔本部長から修了証書の授与、岩男勝実羽田特殊救難基地長から特殊救難帽（通称「オレンジベレー」）が貸与されました。

大根本部長からは、

「どんなときでも特殊救難隊を志した初心を忘れず、仲間とともに乗り越えてほしい。引き続き、知識・能力の向上に努め、さらなる人命救助、海上の安全確保につなげてほしい。」

と激励する訓辞が述べられました。

また、修了者代表宮崎洋充隊員の挨拶では、

「要救助者が安心できるような救助を目指し、これからも精進します。」

と力強い言葉が発表されました。

修了式を終えた新人隊員は、特殊救難隊各隊に編入され、管内はもとより、全国で発生する高度な知識・技術を必要とする海難現場へ出動していきます。

どのような海難現場においても、自身と隊員の安全を第一に、1人でも多くの要救助者を救助出来るよう、第三管区海上保安本部も支援していきます。



修了証書授与



特殊救難帽（オレンジベレー）貸与



テレビ取材を受ける修了生



特殊救難業務研修修了生及び参列者